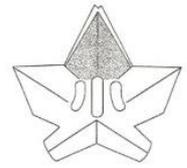


宝達山

宝達志水町立宝達小学校

目指す児童像

- ☆よく考える子
- ☆思いやりのある子
- ☆たくましくやりぬく子



令和6年1月11日(木)
文責 校長 村田 浩彦

☆☆☆☆☆3学期がはじまりました☆☆☆☆☆

1月1日の「令和6年能登半島地震」において、亡くなられた方々におくやみを、そして被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げます。

町当局を始め、関係者の方々の懸命の作業のお陰で、9日(火)に3学期始業式を行うことができました。関係者の皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。

9日の始業式は、健康及び安全の観点からリモート集会として開催しました。始業式の前に、亡くなられた方々への弔意を表すため、「黙禱」を1分間行いました。その後、校長室と各教室をつなぎ、校長先生のお話、杉本先生のお話を聞きました。また、そよかぜ学級担任として池島正芳(いけしま まさよし)先生が赴任されましたので、始業式に引き続き新任式も行いました。

以下は、始業式でお話しした内容です。

「1月1日の元日から、私たちはこれまでに経験したことのないとても大きな地震に見舞われました。1週間後の8日現在、なくなった人168人、安否不明者約320人、孤立状態にある人約3,300人、避難所生活をされている方約28,000人に登っています。宝達志水町では避難所で生活されている方はいませんが、隣の羽咋市では約100人、中能登町では約100人、志賀町では約800人の方がいらっしゃるようです。

幸い、宝達小学校では、先生と子どもたちの中に命を落としたり、大けがをした人はいませんでした。しかし、家が壊れたり、今もまだ断水したりしたままで、生活が不自由な方がいらっしゃいます。今後は、群発地震が収束するまで、学校や家でも気を付けながらの生活となります。

となりの羽咋市や志賀町、七尾市等では、学校以外の場所で授業をしたり、3学期スタートの目処が立っていなかったりする学校がある中で、宝達志水町の職員を始め、学校施設、水道施設の復旧のために多くの方々のお陰で、私たちは今日から3学期をスタートすることができます。また、今日から給食を食べることもできます。今日からのスタートに向けて関わってくださった全ての人に感謝して生活して欲しいと思います。

奥能登の人たちを助けに行くことはできませんが、その代わりに、私たちは自分が今ここでできること、しなければいけないことをしっかりとやるのが大事だと思います。学校は、このようなときに自分で考え行動できるよう勉強をすることでかとも言えます。今日から宝達小学校みんなの力を合わせて頑張っていきましょう。」

そして、今年は辰年ということで「画竜点睛」をテーマに、今年度最後となる3学期を次の学年に向けてしっかりと頑張ることをについてお話ししました。

それぞれのご家庭では、お子様がどのような目標を立てたのか聞いてあげ、励ましのお声掛けをしていただければ幸いです。本年も宜しくお願いいたします。

校長 村田 浩彦

